

## 発生動向の概況

手足口病が再び増加しています。第35週(8月29日~9月4日)の定点当たり報告数は4.8人であり、第27週(7月4日~10日)の31.0人をピークに、第33週(8月15日~21日)では2.2人まで減少しましたが、その後2週続けて増加しており、中予と八幡浜地区で多発しています。ヘルパンギーナ(夏かぜの一種)も再度増加しています。第27週の5.5人をピークに第32週0.9人まで減少しましたが、その後増加に転じ、第35週では2.1人となっています。西条地区、松山市、八幡浜地区と県下各地で増加傾向がみられます。いずれの疾患も秋になると流行は落ち着きますが、今年はもうしばらく動向を見守る必要があります。これらの原因ウイルスは、症状がなくなった後でも1ヶ月程度は糞便中に排出されますので、患者あるいは回復者も、液体石けんを使用した手洗い(特に食前、排便後やおむつ交換後)を励行し、タオルやコップの共用は避けるなど、引き続き感染予防対策を心がけてください。

RSウイルス感染症が東予を中心に増加の兆しがみられます。この疾患は通常12月~2月の冬季に流行しますが、2008年は10月~12月に大きな流行がありました。このまま増加が続くか、今後の動向に注意が必要です。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)がやや減少しました。増加が続いていた西条地区と宇和島地区で減少傾向がみられますが、西条地区は依然高い発生レベルです。

腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例ありました。小児や高齢者など抵抗力の弱い方で重症化することがあります。生肉等の喫食は避け、食肉やレバーは十分加熱(中心温度75℃で1分以上)するとともに、手洗いを励行し、人から人への二次感染を防ぐよう心がけましょう。

## 県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 2例(O157)
- 四類感染症 : A型肝炎 1例
- 五類感染症 : クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性プリオン病古典型)

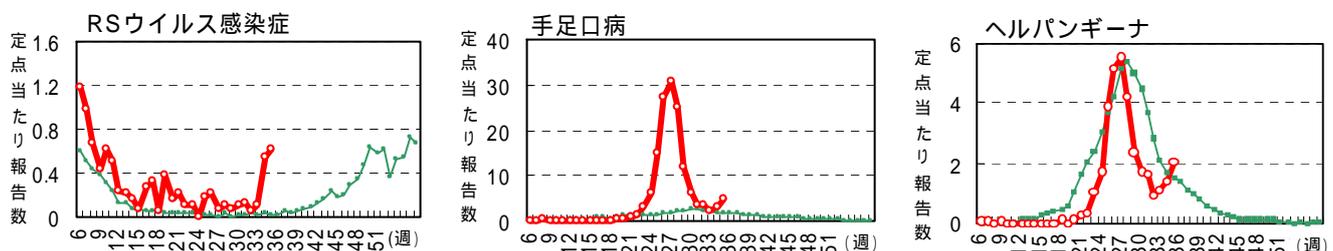
定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	➡ 0.6	東予を中心に、例年より早く増加の兆しあり。
咽頭結膜熱	➡ 0.7	例年並みの発生数。東中予で散発。
手足口病	➡ 4.8	再度増加。中予と八幡浜地区で多発。
伝染性紅斑	➡ 0.7	流行期が続く。宇和島を除くすべての地区で散発。
ヘルパンギーナ	➡ 2.1	再度増加。西条地区、松山市、八幡浜地区と各地で増加傾向。
流行性耳下腺炎	➡ 2.1	やや減少。西条地区では依然高い発生レベルが続く。

## 解析評価委員のコメントから

- RSウイルス感染症 : 少し見られるようになってきましたが、まだ流行ほどではありません。(東予)  
散発的ですが、気管支炎や肺炎の症例で出ているようです。(中予)
- 咽頭結膜熱 : 西条市の旧周桑地区で流行っています。(東予)
- 手足口病 : 一時減っていましたが、少し増えています。6~8月に流行していた症状の激しい例は少なくなり、通常の症状になっています。ウイルスが変わったのか、今期2回罹る例も少なくありません。(中予)
- 伝染性紅斑 : 少し増えています。高熱を呈し、発疹も強い例があり、診断に迷うこともあります。(中予)
- 流行性耳下腺炎 : まだ大流行ですが、若干減少気味です。(東予) 変わらず見られています。(南予)
- マイコプラズマ肺炎 : 西条市の旧周桑地区ではまだ流行っています。(東予)  
散発的に続いています。(中予) やや減った印象です。(南予)

過去30週の動向 (○:過去30週の動向、◆:過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

## 病原体検出情報

平成 23 年 9 月 6 日現在

7月下旬から8月下旬に採取された手足口病、不明発疹症及び上気道炎患者検体からコクサッキーウイルス A6 型が 3 例検出されています。本県においては、コクサッキーウイルス A6 型が手足口病及び不明発疹症の主要な病原体となっています。また、8月上旬に採取された不明熱患者 2 名の検体からアデノ様ウイルスが分離され現在同定中です。

感染性胃腸炎では、8月下旬の検体から下痢原性大腸菌が 1 例検出されています。7月以降は、下痢原性大腸菌等細菌性の病原体検出数が多くなっています。

### 過去 5 週 検出病原体

(7月25日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
30	7/25～7/31	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
				カンピロバクター	糞 便	1
				サボ	糞 便	1
			手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
			発疹症・不明発疹症	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
32	8/8～8/14	松山市	上気道炎	コクサッキーA6	糞 便	1
34	8/22～8/28	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
			下気道炎	ライノ	咽頭ぬぐい液	1

### 月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月							合計
	2011							
	3	4	5	6	7	8		
コクサッキーA6			1	6	7	1	15	
コクサッキーA9		1					1	
ライノ				3		1	4	
インフル(H1N1)2009	3						3	
インフルA香港	13	10	4				27	
インフルB	1	3					4	
RS	1						1	
ムンプス			1				1	
ロタ	4	15	1	1			21	
ノロ	5	6	1	1			13	
サボ	12	8	8	7	2		37	
アデノ			1				1	
アデノ1	1	2		1	1		5	
アデノ2	1	4	1	5			11	
アデノ3	1			2			3	
ウイルス計	42	49	18	26	10	2	147	
細菌								
下痢原性大腸菌	2	1	1	2	8	1	15	
サルモネラ O4				1			1	
カンピロバクター		1	1		1		3	
A群溶レン菌			1				1	
細菌計	2	2	3	3	9	1	20	

### 臨床診断別検出結果 (2011年6月以降採取検体)

検出病原体	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	下 気 道 炎	上 気 道 炎	不 明 熱	発 疹 症 ・ 不 明 熱	合 計
コクサッキーA6		7		1		6	14
ライノ		2	1			1	4
ロタ	1						1
ノロ	1						1
サボ	9						9
アデノ1			2				2
アデノ2			2	1	2		5
アデノ3			1		1		2
ウイルス計	11	9	6	2	3	7	38
下痢原性大腸菌	11						11
サルモネラ O4	1						1
カンピロバクター	1						1
細菌計	13						13







全国 定点把握感染症 2011年 第33、34週 (2011.8.15 ~ 8.28)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3)
33週	愛媛県	.1	.6	.4	2.8	.6	2.2	.6	.8		1.1	2.6	.1	.8			1.7	.2	
	近畿県	香川県	.0	1.0	.5	.4	3.3	.3	1.9	.4	.3	.0	2.0	1.8		1.0	.2		
		徳島県	.4	.8	.7	3.7	.9	1.5	1.1	.5		.5	1.3		.3		.2	.6	
		高知県	.0	.4	.6	1.1	.8	6.9	.2	.6		1.3	.2		.3		.3	.6	
	全 国	.0	.3	.4	.5	2.2	.6	4.3	.3	.6	.0	2.1	.7	.2	.8	.0	.1	.7	.0
	北海道	.2	.5	.5	1.0	.6	3.6	.4	.5		3.5	.3		.4		.0	.1		
	東 北	.0	.1	.2	.3	1.9	.6	8.2	.3	.7		3.8	1.0		.8	.0	.0	1.0	.0
	関 東	.0	.1	.3	.5	1.8	.5	4.4	.3	.5	.0	2.5	.3	.0	.9	.0	.1	.8	.0
	甲信越北陸	.0	.1	.5	.6	2.3	.6	5.3	.2	.4	.0	4.5	1.3	.0	.8	.0	.1	.6	.1
	東 海	.0	.1	.5	.3	2.5	.7	5.4	.5	.6	.0	1.6	.5		.6		.1	.7	
近 畿	.0	.5	.3	.4	2.2	.6	2.2	.3	.5	.0	.8	.6	.0	.5	.0	.2	.9		
中国四国	.0	.3	.5	.5	2.8	.6	2.7	.4	.6	.0	1.1	1.3	.0	.7	.0	.1	.7	.0	
九州沖縄	.0	.6	.4	.8	3.2	.9	4.5	.3	.8	.0	1.6	1.2	1.8	1.2	.0	.1	.7		

(8.24集計)

34週	愛媛県	.5	.5	.5	3.5	1.4	3.2	.4	1.0		1.4	2.2		2.5		.2	.8		
	近畿県	香川県	2.0	.5	.2	2.5	.4	1.5	.4	1.0		2.1	1.0						
		徳島県	.4	.4	.4	2.6	.8	1.2	.7	.4		.7	1.0		.3			.4	
		高知県	.0	.3	.4	1.0	.6	6.1	.3	.4	.0	.6	.1					.7	
	全 国	.0	.3	.4	.6	2.6	.5	4.0	.4	.7	.0	2.2	.7	.2	.7	.0	.1	.7	.0
	北海道	.0	.2	.4	1.1	1.4	.3	3.5	.5	.6		3.8	.5		.3		.0	.2	
	東 北	.0	.1	.2	.5	2.3	.4	9.1	.3	.8	.0	4.4	.9		.4		.1	.9	.0
	関 東	.0	.1	.3	.5	2.3	.4	3.8	.3	.7	.0	2.4	.4	.0	.8	.0	.1	.7	
	甲信越北陸	.0	.1	.5	1.1	2.6	.6	4.9	.3	.6	.0	5.3	1.2	.0	.5	.1	.0	.6	.2
	東 海	.0	.1	.4	.4	2.7	.5	4.1	.7	.8	.0	1.3	.5		.5	.0	.1	1.1	.1
近 畿	.0	.4	.4	.5	2.5	.6	1.9	.5	.6	.0	.7	.6		.4	.0	.1	.8		
中国四国	.4	.5	.5	2.9	.6	3.3	.4	.8	.0	1.2	1.1		1.0	.1	.1	.4	.0		
九州沖縄	.0	.7	.4	.8	3.6	.8	3.8	.3	.9	.0	1.4	1.2	2.0	1.6	.0	.0	.4		

(8.31集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 2011年 第33、34週 (2011.8.15~8.28)

類 型 疾病名	二類		三類感染症					四類感染症														五類感染症																									
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(11) 狂犬病	(12) コクシジオイデス症	(18) チクングニア熱	(19) つつが虫病	(20) デング熱	(24) 日本紅斑熱	(25) 日本脳炎	(29) ブルセラ症	(31) 発疹チフス	(33) ポツリヌス症	(34) マラリア	(35) 野兔病	(36) ライム病	(39) 類鼻疽	(40) レジオネラ症	(41) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2) ウイルス性肝炎	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) バンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん			
第33・34週報告数	全 国	659	1	27	254		1	2						1	2	7					2				1	20	1	12	6	3		1	1	34	2			20	1		1	17	4				
四国	愛媛県	7			1			1																																							
	香川県				3																																										
	徳島県				2											1																															
	高知県	10																																													
	北海道	4			1																																										
	東北	47		12	41																								1																		
	関東	275		9	70																	2						6	1	1					18	1				11			1	5	2		
	甲信越北陸	38		1	30																																										
	東海	85	1	1	19			1	1									1										1	1												3						
	近畿	79		2	35												1	3										5	2	4					7	1			3					4	1		
中国四国	55		2	16				1									2										1																				
九州沖縄	76			42											1	1	1										3	1	1					3					1	1				8	1		
週推移	全 国	34週	332	1	25	116			2							1	6				1			1	9	11	2				1			17	1			9	1			5	2				
	33週	327		2	138			1							1	1	1					1			11	1	1	4	3			1		17	1			11			1	12	2				
	32週	346		1	4	200	1	1							2	1						3			1	5	1	13	1	2					2	1	8			7			4	7			
	31週	380		2	5	250			1						1	3	5					2		1	18	10		1										14	1			1	6	5			
2011年累積数	全 国	1 19546	6 150	2654	14 17	41 143	12 11						2	5 162	59 68	2				3 45		5 2	459	8 512	168 193	6 80	149 927	44 7	1 491	74									37 304	387							
	四国	愛媛県	191		10		1 2										5			1				2	5 5	1 3	3	9													1 1	3					
	香川県	124		1	8								1											5	2 3	2 2	4												2			1 1	1				
	徳島県	144			9		1										7			1				1	3 1		3												1 1			1	1				
	高知県	123			1									1		5								5	1	2		1 3	1										3 1								
	北海道	648			52		9	9								8								6	8 2	5 1	5 5	17												15 5			18 8				
	東北	1142		18	519		1 8	1							85	1					1		1	26	20 7	6	2 6	18 1											15 12		3 7	4					
	関東	1 7216	3 67	580 6 13	10 92	2 4							2 2	20 25	3 1						27	4	1 131	3 232	54 67	2 26	43 412	18 3	1 216	16										16 109	260						
	甲信越北陸	1017	1 10	341 1 1	1 3									29							4		1 67	26 13	21		5 21	35 2											19 5		1 10	4					
	東海	2393	1 16	201 1 3	8 7									1 2	8 9						1 7			50	53 15	28 2	6 19	104 8											55 5		1 20	38					
近畿	2814	1 13	360 2	3 7		4							5 11	10						3			100 1	101 32	36 1	14 19	209 10											87 4		7 56	29						
中国四国	1920		10 214		4 10	3							1 6	32						2 1			40 1	31 25	13		11 12	54 3										17 11		2 16	33						
九州沖縄	2396		16 387	4	5 16								1 15	6 14	1					2			39 3	41 20	17		11 24	78 2	4									67 16		7 68	11						

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

・四類感染症 チクングニア熱は、2011年2月1日から対象疾患に追加されました。

(8.31集計)